

# 川越駅西口周辺地区基本構想 (川越駅西口グランドデザイン)

平成 22 年 3 月

川 越 市



# 目 次

はじめに .....	
序章 構想の概要 .....	1
第1章 川越駅西口周辺地区の現況特性 .....	2
1. 川越駅西口周辺地区の現況特性について	
2. 川越駅西口周辺地区の整備課題	
第2章 川越駅西口周辺地区基本構想 .....	6
1. 川越駅西口周辺地区が将来的に果たすべき役割等について	
(1) 川越駅西口周辺地区に求められる役割	
(2) 川越駅西口周辺地区の都市整備の目標	
2. 将来都市構造、土地利用等についての基本的な考え方	
(1) 前提となる将来人口について	
(2) 将来都市構造について	
(3) 都市基盤整備の基本方針	
(4) 大規模用地の土地利用転換方針	
(5) 土地利用誘導の方向について	
3. 川越駅西口周辺地区基本構想	
(1) 拠点の形成	
(2) 道路ネットワーク	
(3) 歩行者ネットワーク	
(4) 土地利用の方針	
(5) 都市景観の方針	
第3章 拠点整備についての検討 .....	24
1. 求められる導入機能について	
(1) 市有地の状況	
(2) 導入機能の検討	
(3) 基本コンセプトの展開	
—基本構想の実現に向けて— .....	27
用語解説 .....	28

## はじめに



川越市は、大正11年に県内初の市制を施行し、昭和30年の隣接9ヶ村との合併を経て現在の市域を形成しています。市郊外部には荒川、入間川、伊佐沼等の水辺空間や、武蔵野の面影を残す樹林地、広大な優良農地が広がっており、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた都市となっています。

また、平成11年には、第5次首都圏基本計画におきまして、川越業務核都市として位置付けられるとともに、平成15年には、県内で初の中核市に移行し、県南西部地域を代表する中心都市として発展してきました。さらに、観光面でも、江戸文化の香りを今に残す城下町として脚光を浴びており、毎年多くの観光客が訪れています。

このような中、本市では、川越駅西口周辺地区における都市機能の充実を図るために、平成6年度に地域産業文化センター（仮称）を核とする「川越駅西口周辺地区基本構想」を策定いたしました。その後、第二次・第三次川越市総合計画、川越市都市計画マスタープラン等が策定され、平成19年度には、業務核都市基本構想におきまして、西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）が、地域産業文化センターに代わる川越都心地区の中心核として位置づけられるとともに、平成21年度には、川越市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受けました。

現在、本市には、これらの上位計画や社会経済状況の変化を踏まえ、少子高齢化などに対応したコンパクトなまちづくりが求められています。人口増加を前提とした成長・拡大の都市化社会から、安定・成熟した都市型社会への対応が不可欠であり、量から質の向上を目指したまちづくりへの転換が必要となっています。

このたび、川越駅西口周辺地区における都市基盤整備や、公有地等を活用した拠点形成の在り方を再検討するために、「川越駅西口周辺地区基本構想（川越駅西口ランドデザイン）」の見直しを図りました。

今後は、「明日の県西部地域を担う中核拠点地区」として本地区がますます発展するよう、本構想に基づき計画的にまちづくりを推進していく所存でございます。

今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年3月

川越市長 川 合 善 明